

神奈川県川崎市

高精度鏡面研削加工の専門技術に特化し、競争優位を作る事業モデルを構築

超硬合金を研磨・研削することにより、マイクロコネクタ向けプレス金型部品を製造している会社である。高精度鏡面研削加工を得意としている。一品一様のパーツを受注生産にて製作しており、NC搭載の最新機種と熟練の加工者が持つ経験と技術で、顧客要望に柔軟に対応できる体制をとっている。国内大手のコネクタメーカーが主要顧客であり、スマートフォン向けのマイクロコネクタ用金型部品の提供が主である。

●所在地	神奈川県川崎市高津区宇奈根 744-8	●設立	1980年
●電話/FAX	044-833-2406/044-822-2318	●資本金	1,000万円
●URL	http://www.apic-inc.co.jp/company	●従業員数	15名
●代表者	代表取締役 新井 聡		



高精度鏡面研削加工技術

同社は主にスマートフォン内部に使用されるマイクロコネクタ製造のための金型部品を製造・供給している。スマートフォンは大型化が進む一方で内部の部品は年々小型化を要求され、製造品質においても公差±1ミクロンを求められる。このような高精度加工要件を満たす技術を保有する数少ない企業の一つであり、国内大手コネクタメーカーにとっても欠かせない会社となっている。また、一度コスト面で海外へ製造・加工を移した顧客も最近では同社へ戻ってくるケースも出てきている。



高精度加工要件を満たす製品

専門技術に特化した競争優位を作る事業モデル

海外への生産移転が進む大型部品に手を広げることなく、小型部品の高精度鏡面研削加工に特化し品質面・納期面・コスト面に磨きをかけることで事業を成長させている。特に高精度を実現する鏡面研削加工は先端設備の導入はもちろんのこと、熟練した技術者のノウハウも必要不可欠となる。同社は先端設備導入と鏡面研削加工に就いて10年以上の経験を有する熟練技術者が複数おり、簡単には模倣できないビジネスモデルを構築している。



鏡面加工

従業員を大切にしているリーダー

代表である新井聡氏は今年度、事業承継により代表取締役へ就任した。先代から引き継がれている「精密加工の未来を拓く」の経営理念を社内に浸透させ、世界に誇れるものづくりに貢献するべく技術の開発・工場に努めている。さらに従業員の“幸せや働きがい”を大切に事業運営を行っているため、離職率は極めて低く、技術力のあるベテラン従業員と若手従業員が定着する環境が整っており、同社強みの根源となっている。



社員がいきいき働く現場